

吉岐でスマート農業技術の現地検証が始まりました！

○スマート農業技術の推進母体設立

農家の高齢化や後継者不在による労働力の不足が顕著となっている状況の中、スマート農業を取り入れ、水稻及びアスパラガス生産の効率化・省力化を図り、新たな営農体系の構築、生産体制の維持・拡大を目的として、令和3年4月に「吉岐市スマート農業推進協議会」が設立されました。

協議会の会員は、市内の生産者や農事組合法人、農協、市農林課、農業共済組合、県農業振興普及課などで構成されています。

本協議会では、吉岐市内で開発したアスパラガス自動灌水装置の普及のための検証、水田農業におけるドローン、ラジコン草刈機、水田水管理システム等、先端技術を組み入れた実証試験や研修会、先進地視察等を行いながら、アスパラガス及び水田農業の新たな営農体系の構築について検討を行う予定です。

○直進アシスト田植機実演会

令和3年6月に、活動の第1弾として、直進アシスト田植機の実演会を開催しました。生産者・関係機関合わせて約80名が参加し、手をハンドルから離しても自動で真っすぐ田植えを行う様子に驚嘆の声が聞かれました。

真っすぐ田植えを行う技術は、経験豊富な篤農家の「匠の技」ともいえます。直進アシスト技術は、その熟練技術を若手農業者や女性農業者でも再現できるため、将来的にオペレーターの確保が進み、労力不足の解消につながることを期待されます。



実演会の様子

○検証予定のスマート農業技術

アスパラガス



AI制御自動灌水装置



水田農業



①ドローン防除



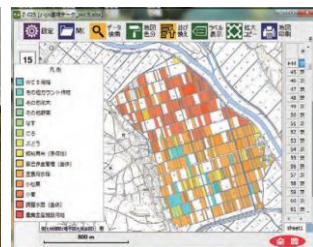
②ラジコン草刈機



③水田水管理システム



④直進アシストトラクター



⑤圃場管理システム